



鎌倉市観光ニーズ調査結果

2022年12月調査

～2023年2月～5月に向けて～

◆調査結果のポイント

来訪経験

P2

- 1年以内の来訪経験割合は21.8%
- 半年以内では14.4%

満足度

P3

- とても満足は19.1%、不満は7.3%
- 満足の理由は、楽しめるスポットが多い、歴史的な景観、美味しい食べ物、楽しい小町通りなど
- 不満の理由は、人の多さ、渋滞など

課題等

- コロナ収束を見据えたオーバーツーリズム対策

2月～5月の訪問予定

訪問予定

P4

- 訪問予定がある割合は13.6%
- 予定がある年代は、60代、50代と、15歳以上の10代、20代が多い

宿泊

P4

- 全体としては、市内での宿泊予定割合は11.4%だが、20代30代で約20%弱と他の世代より高い傾向

訪問場所

P5

- 小町通り・八幡宮周辺が一番人気、次いで長谷・極楽寺周辺、北鎌倉
- 50代60代では長谷・極楽寺、20代30代では鎌倉駅西口も人気

2月～5月の予想

- 20代以下の若者と50、60代が多い可能性
- 宿泊は1割程度
- 定番の小町通り、長谷、北鎌倉が人気。20、30代では鎌倉駅西口も

観光トピック

観光目的

P6

- 寺社仏閣巡りが58.4%で最も高く、次いでグルメが48.0%
- 高齢層では寺社仏閣巡り、20代以下ではグルメ
- ほかハイキングや花は高齢層で、海やイベント、体験は若年層で高い傾向

あったらよいもの

P6

- 1位はトイレ、喫煙所やロッカー・荷物預かりのニーズは低い。

周遊地域

P6

- 江ノ島が59%で最も高い
- 次いで横浜、逗子葉山、箱根が25%程度で並ぶ

課題等

- (年代によってニーズ傾向に差異がみられることから) 地域ごとのターゲットと提供コンテンツの見直し
- トイレや休憩場の用意
- 江ノ島地域（藤沢市）との連携強化

調査概要

調査対象：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住者

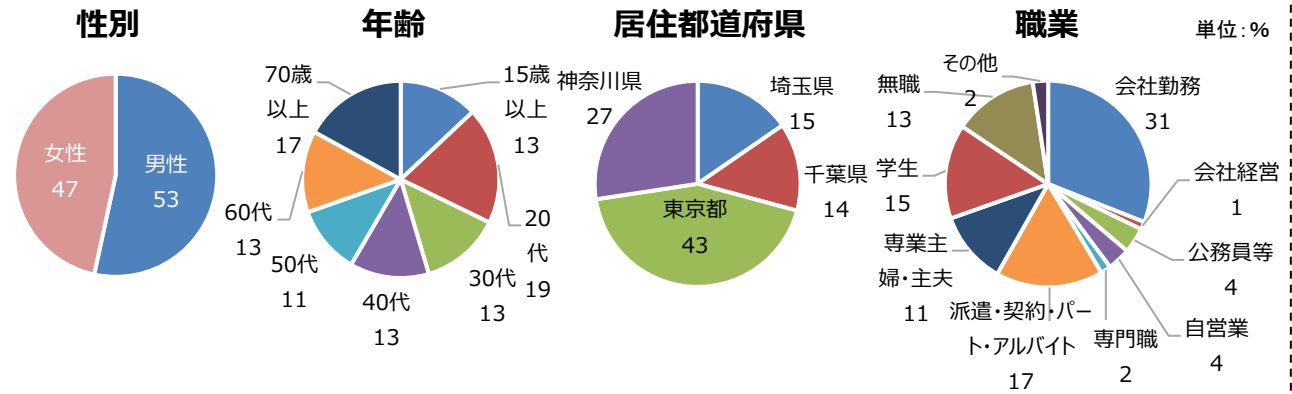
回答数：500（割付なし）

調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社の QiQUMOを利用）

実施期間：2022年12月19日（月）～12月20日（火）

回答者属性

- 性別は若干男性が多い。
- 年齢は10歳階級で偏りは無い。
- 居住都道府県は、東京都が43%で最も多く、神奈川県が27%、千葉県と埼玉県は15%程度。
- 職業は会社勤務が31%パートアルバイトが17%、主婦・学生・無職の合計が39%と、国勢調査等の実際の職業割合と比べて大きな乖離はみられない。



調査結果

鎌倉への来訪経験

1年以内の来訪経験 **21.8%**

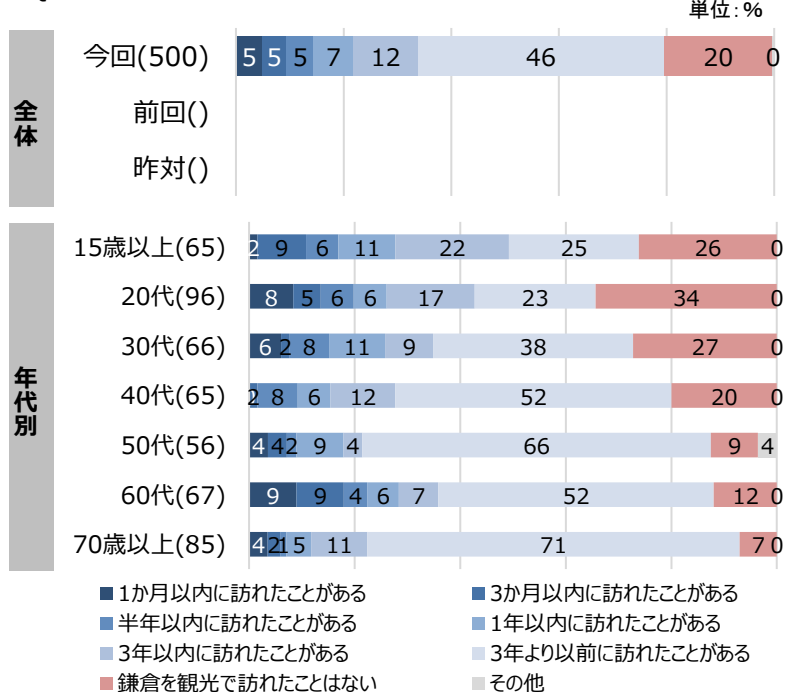
1年以内の来訪経験割合は21.8%
半年以内では14.4%

全体として、鎌倉を観光で訪れた経験のない割合は20%程度。

訪問経験者のボリュームゾーンは3年以上前に訪れたことがある人で（46%）、半数近くの人がコロナ前に来訪経験がありコロナ後に来訪が無いとみられる。

年代別には30代以下の若年層と60代で3年以内（コロナ流行後）の来訪経験割合が高い。

Q1 あなたは、鎌倉を観光で訪れたことはありますか？



2023年2月～5月の訪問予定

訪問予定の有無

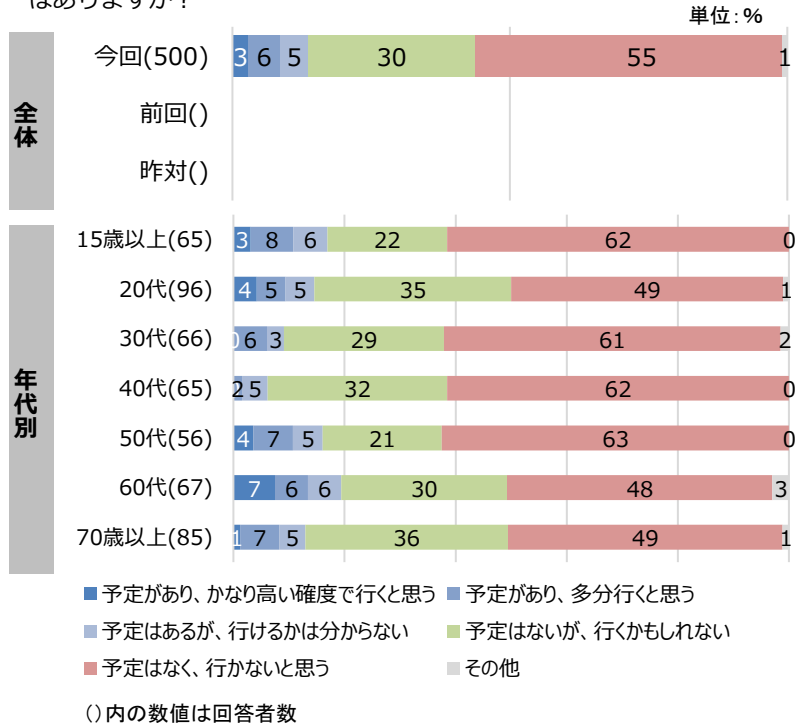
訪問予定ありの割合 **13.6%**

訪問予定がある割合は13.6%
 予定がある年代は、60代、50代と、
 15歳以上の10代、20代が多い

全体としては、予定がなく行かない
 と思う割合が55%、予定はないが行
 くかもしれない割合が30%、行ける
 か分からない人まで含めた予定があ
 る人の割合は約14%。

年代別には、60代50代の高齢者手前
 の世代と、20代以下のいわゆるZ世
 代で「予定がある」割合が高い。こ
 れはwithコロナ時代に突入してアク
 ティブに動ける層から動き出す流れ
 とも捉えられる。

Q4 あなたは、2023年2月～5月の間に、鎌倉に観光で訪れる予定
 はありますか？



宿泊の有無

市内宿泊予定の割合 **11.4%**

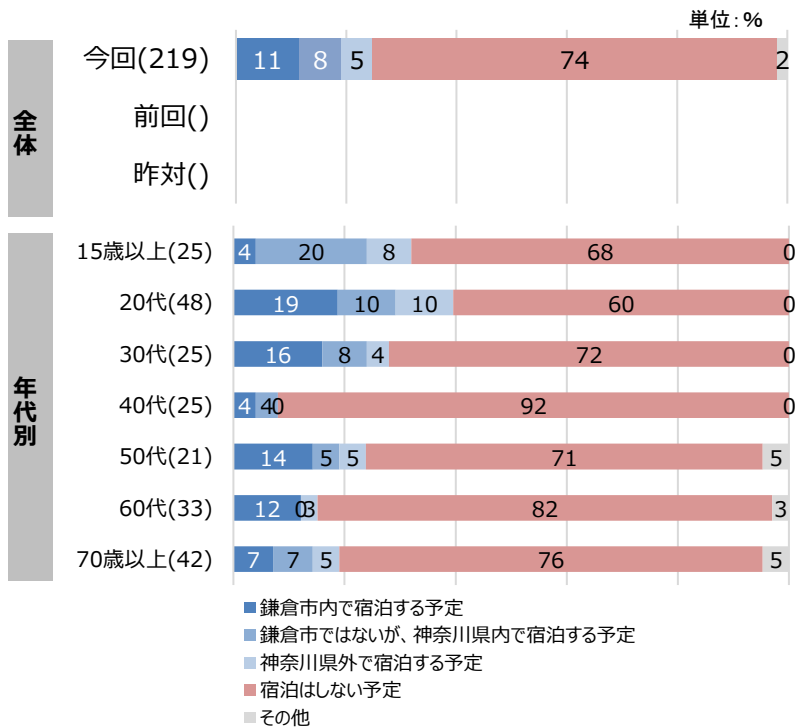
全体としては、市内での宿泊予定割
 合は11.4%だが、20代30代で約
 20%弱と他の世代より高い傾向

鎌倉市内で宿泊を予定している割合
 は低く、約11%に留まる。

ただし、20代30代では19%、16%と
 他の年代より高くなっている。また、
 これらの年代では、鎌倉市以外での
 宿泊予定の割合も他年代よりも高い。
 また、15歳以上の10代では鎌倉市以
 外の神奈川県内に宿泊する予定と回
 答した割合が20%と高くなっている。

Q7 2023年2月～5月に鎌倉を訪れる際に、宿泊はする予定ですか？

※Q4で「予定はなくいかないと思う」「その他」を除いた人が回答



2023年2月～5月の訪問予定

※Q5、Q6はQ4で「予定はなくはないかと思う」「その他」を除いた人が回答

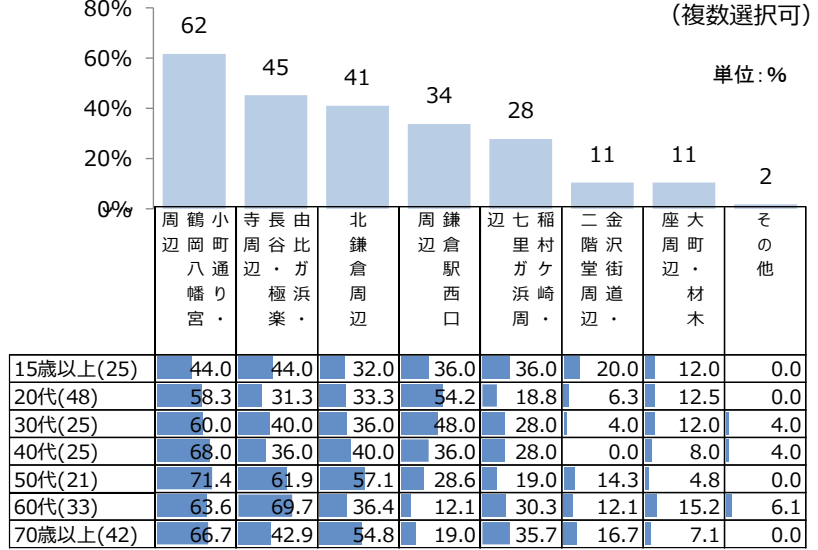
訪問場所

小町通り・八幡宮周辺が一番人気、次いで長谷、北鎌倉
50代60代では長谷・極楽寺、20代30代では鎌倉駅西口も人気

鎌倉訪問予定者のうち、62%は小町通り・八幡宮周辺を訪れる可能性。長谷や北鎌倉周辺も40%以上の人々が来訪を考えていると回答。

どの年代でも小町通り・八幡宮周辺の人気は高いが、50代60代では長谷・極楽寺周辺が60%を超えて高く、20代30代では鎌倉駅西口周辺の割合が50%前後と高くなっている。

Q5 2023年2月～5月には、鎌倉のどのあたりに行こうと考えていますか？ (複数選択可)



()内の数値は回答者数

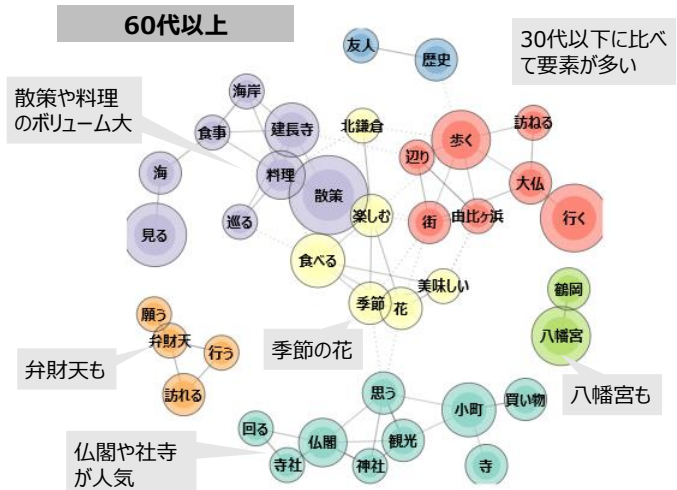
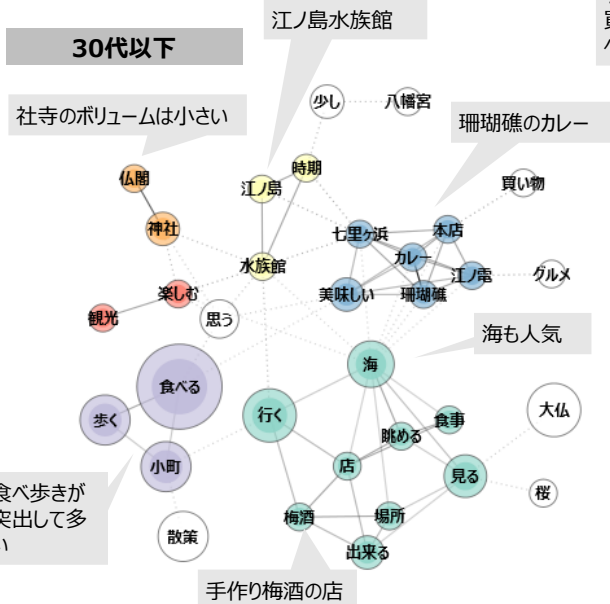
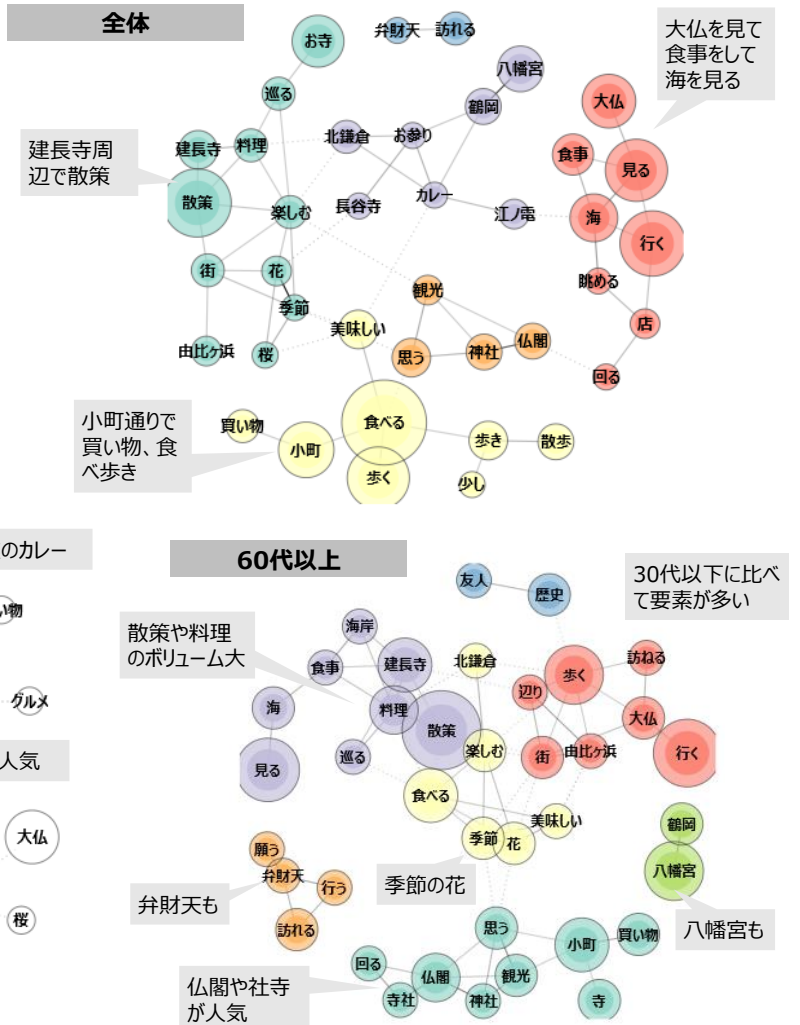
具体の訪問場所と行いたいこと

図は自由意見をテキストマイニングで図化したものの円の大きさは発言回数の多さを、円を結ぶ線とその太さは、語の間の関係と強さを示す

全体としては、
 ・小町通りの食べ歩き
 ・建長寺付近の散策
 ・大仏を見て食事をして海を眺める
 などの定番路線

30代以下、60代以上に特徴

Q6 2023年2月～5月の鎌倉で、具体的にはどこで何をしたいと考えていますか？行こうと思っている具体の場所とやりたいことをお書きください。



観光トピック

観光ニーズ

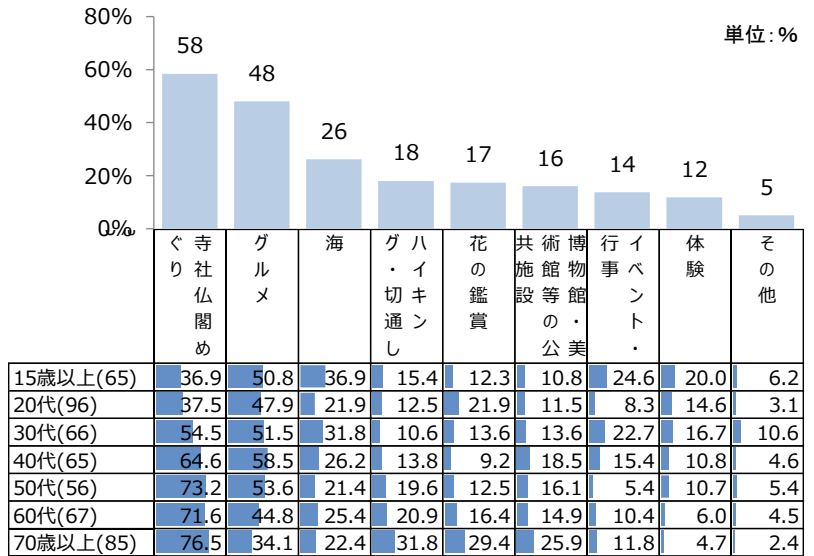
**高齢層では寺社仏閣巡り
20代以下ではグルメ
30代40代では寺社とグルメが拮抗**

全体としては、寺社仏閣巡りが過半で最も高く、次いでグルメが高い。寺社仏閣巡りは年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向。70歳以上では77%に上る。

20代以下ではグルメが最も高く、次いで社寺や海の割合が高い。

ほかハイキングや花は高齢層で、海やイベント、体験は若年層で高い傾向。

Q8 今後、鎌倉を訪れるとしたら、何を目的に観光したいですか（複数選択可）



()内の数値は回答者数

あったらよいもの

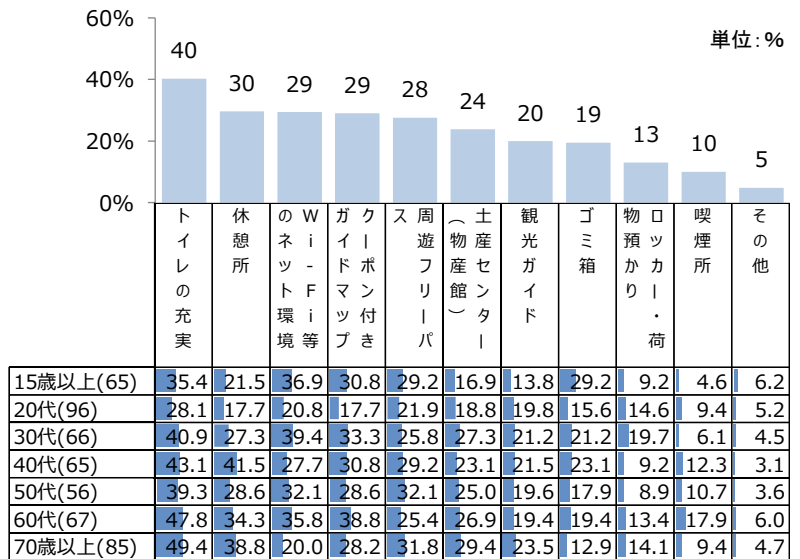
1位はトイレ、次いで休憩所、ネット環境、クーポン付きガイドマップ、周遊フリーパスが並ぶ

トイレは40%の人が欲しいと回答。トイレはいずれの年代でも欲しいと回答している割合が最も高い。

休憩所は高齢層で高い傾向。

喫煙所やロッカー・荷物預かりのニーズは低い。

Q9 鎌倉観光に必要なもの、あったらいいなと思うものは何ですか（複数選択可）



()内の数値は回答者数

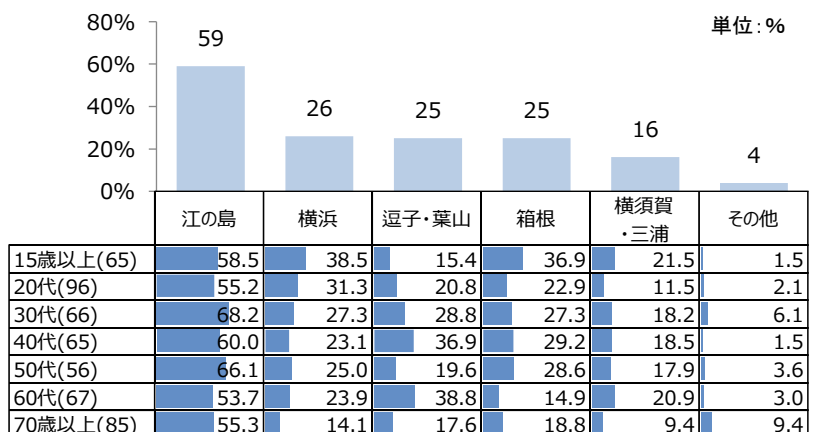
周遊地域

**江ノ島が59%で最も高い
次いで横浜、逗子葉山、箱根が
25%程度で並ぶ**

江ノ島がいずれの年代でも過半で最も高く、次いで横浜、逗子葉山、箱根が続く。

年代別には、横浜は若年層で、逗子葉山は40代や60代で、箱根は15歳以上の10代で高い傾向。

Q10 鎌倉を訪れる際、鎌倉に加えて旅程に組み込みたい場所はどこですか（神奈川県内）（複数選択可）



()内の数値は回答者数